

起動ガイド

Symmetra® LX タワー ラックマウント

UPS モデル

200 V, 4-8 kVA

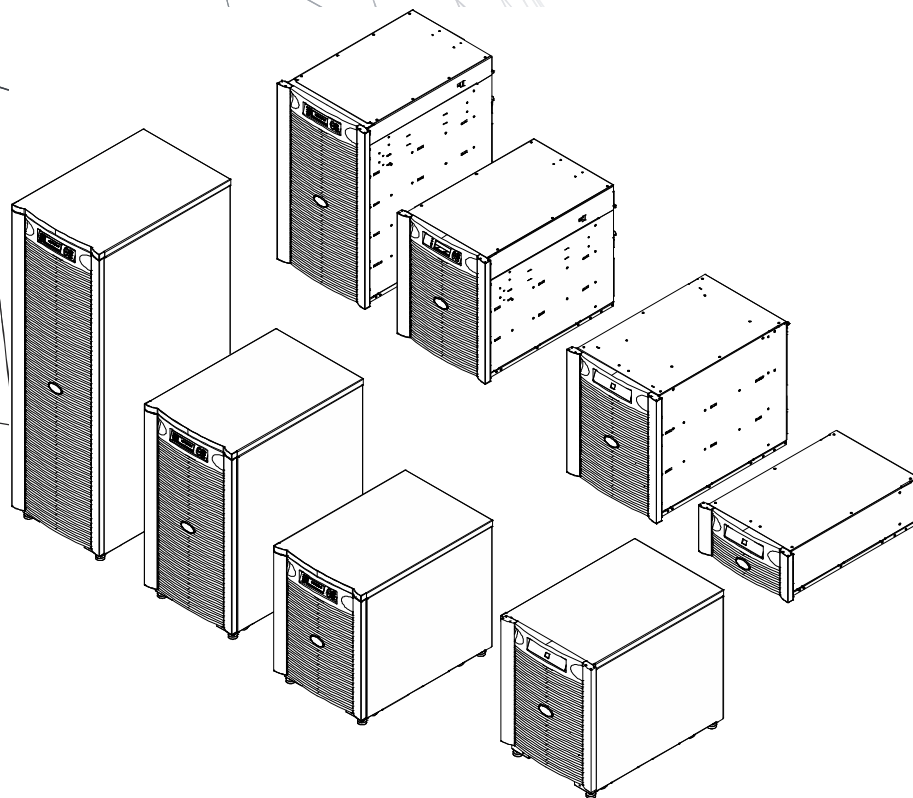
208/240 V, 4-8 kVA

220/230/240 V, 4-8 kVA

200 V, 4-16 kVA

208/240 V, 4-16 kVA

220/230/240 V, 4-16 kVA



重要な安全性メッセージ

重要な安全性メッセージインストラクションは保存してください。本マニュアルは重要な従うべきインストラクションを含んでいます。

Schneider Electric による APC™ 機器とバッテリーのインストールとメンテナンス

注意してインストラクションをお読みください。インストール、操作、サービス、またはメンテナンスを実行する前に機器をよく理解してください。危険の可能性を警告するため、あるいは手順を明確にするまたは簡単にする情報に注意を促すため、次の特別メッセージが本マニュアル全体を通じ、または機器上に示されている場合があります。



「危険」または「警告」の安全ラベルにこの記号が追加されていることは、指示手順に従わない場合、人体への危害につながる感電の危険が存在することを示します。



これは安全に関する注意を示す記号です。この記号は人体への危害の危険性あることを注意するために使用されます。怪我や死亡の可能性を回避するために、この記号に続く安全に関するメッセージすべてを遵守してください。

⚠ 危険

危険は危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、死亡または重傷につながります。

⚠ 警告

警告は危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、軽度または中度の怪我につながる恐れがあります。

⚠ 注意

注意は危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、軽度または中度の怪我につながる恐れがあります。

通知

製品使用上の留意事項について記載しています。但し、身体的損傷に関するものではありません。

製品取り扱いガイドライン



<18 kg
<40 lb



18-32 kg
40-70 lb



32-55 kg
70-120 lb



>55 kg
>120 lb



安全性と一般情報

受領した時点で梱包の内容物をご確認ください。
破損が見られる場合は、運送業者および販売店までお知らせください。

- ・ この機器は制限された場所でのみご利用いただけます。
- ・ 国および地域の全ての電気規則に従ってください。
- ・ すべての配線は、有資格の電気技師が行う必要があります。
- ・ 危険な状況の下で、一人で作業しないでください。
- ・ **Schneider Electric IT Corporation が明示的に推奨していない、装置への変更、改造を加えた場合、保証が無効になることがあります。**
- ・ この UPS は屋内のみで使用します。
- ・ 本装置を、直射日光が当たる場所、液体に触れるような場所、あるいは過度のほこりや湿度のある 場所では作動しないでください。
- ・ UPS の通気孔を塞がないでください。適度な換気を得るための適切なスペースを確保してください。
- ・ 工場出荷時に設置された UPS 電気コードは、UP 電力ケーブルを壁のコンセントに直接差し込んでください。サージプロテクタまたは延長コードは使用しないでください。
- ・ 機器は相当な重量があります。常に機器の重さに適した方法で安全に持ち上げてください。
- ・ バッテリーは相当な重量があります。UPS と予備のバッテリーパック (XLBP) を設置する前に、バッテリーをラックに取り外してください。
- ・ 常に XLBP をラックマウント構成の 1 番下に取り付けてください。UPS は必ず、XLBP の上に設置されなければいけません。常にラックマウント構成の UPS の上に。
- ・ 常にラックマウント構成の上に周辺機器を設置してください。

電気に関する安全性

- ・ 電源が切れるまで、いかなる金属製のコネクタにも手を触れないでください。
- ・ ハードワイヤー入力のモデルでは、分岐回路 (メイン) への接続は有資格の電気技師が行う必要があります。
- ・ 230V モデルに限り：ヨーロッパにて販売をするにあたり、EMC 指令のコンプライアンスを維持するためには、UPS につながった出力コードは 10 メートルの長さを超えてはいけません。
- ・ UPS の保護接地 (アース) 線は、負荷装置 (コンピューター機器) から漏れる電流が流れるものです。絶縁接地導線は UPS に電気を供給する分岐回路の一部として設置されるものです。導線接地および非接地分岐回路供給導線として、同じサイズで同じ材質の断熱材を使用しなければいけません。導線は普通緑色で、黄色のストライプが付いている場合もあります。
- ・ 接続できる A タイプの UPS から漏れ出る電流は、別々の接地端子が使用されている場合、3.5mA を上回ることもあります。
- ・ UPS 入力接地導線はサービスパネルの保護アースに、適切につながっていなければなりません。
- ・ もしも UPS 入力電流が別々の派生システムで供給されている場合には、設置導線は電源トランスやモータージェネレーターセットに適切に取り付けられていなければいけません。

ハードワイヤーに関する安全注意事項

- ・ ジャンクションボックスまたは、UPS にケーブルの取り付け、もしくは接続をする前に、すべての分解回路 (メイン) と低いボルト (コントロール) 回路が非通電されているかロックされていることを確認してください。
- ・ すべての配線は、有資格の電気技師が行う必要があります。
- ・ 配線のサイズとコネクタは国によって異なります。
- ・ ワイヤリングは地域の当局者によって承認されたものでなければなりません。
- ・ ストレインリリーフは、すべてのハードワイヤリングのために必要です (選択した製品に付属)。スナップインタイプのストレインリリーフをお勧めします。
- ・ UPS の有線端末へのアクセスを許可するすべての開口部が覆われている必要があります。これを怠ると、人身事故や機器の損傷をもたらす可能性があります。

非通電に関する安全注意事項性

- ・ UPS は内部にバッテリーが取り付けられており、AC と DC パワーが接続されていない場合でも、感電の危険を及ぼすこともあります。
- ・ AC と DC の出力コネクタは遠隔、または自動操作で常に通電しうる場合があります。
- ・ 機器の取り付けや操作をする前に、次の操作をしてください：
 - ・ システムを設定するには、スイッチを OFF にします。
 - ・ 入力回路ブレーカーを OFF にセットします。
 - ・ バッテリーモジュールの接続を切ります。
 - ・ 提供されている場合、外部バッテリーキャビネットを外します。
 - ・ 電源／分岐回路の接続を断ちます。

バッテリーに関する安全注意事項性

- ・ バッテリーの交換時には、同じナンバーでタイプのものをご使用ください。
- ・ バッテリーの寿命は約 2 年から 5 年です。使用環境の条件によってバッテリーの寿命が変わります。なお、大気温度が高い条件下での使用、低品質なユーティリティ電源の使用、短時間の頻繁な放電はバッテリーの寿命を短くします。バッテリーは完全に切れる前に交換してください。
- ・ 機器 がバッテリー交換を通知した場合、直ちにバッテリーを交換してください。
- ・ Schneider Electric による APC™ はメンテナンス不要の密封された鉛蓄電池を使用しています。通常の使用および取り扱いの下では、バッテリーの内部コンポーネントとは接触がありません。過度の充電、加熱、その他のバッテリーの悪用は、バッテリーの電解液の排出を引き起こします。電解液は有毒であり、肌や目に傷害を与える恐れがあります。
- ・ 注意：バッテリーの取り付けまたは交換を行う場合には、腕時計、指輪などのアクセサリーは外してください。絶縁ハンドルで道具をご使用ください。導電性物質を通して、高い短絡電流が発生した場合、重度のやけどを引き起こすことがあります。
- ・ 注意：バッテリーを火に近づけないでください。バッテリーが爆発する恐れがあります。
- ・ 注意：バッテリーを分解しないでください。流れ出る電解液は有毒であり、皮膚や目に傷害を与える恐れがあります。

一般情報

- ・ モデルとシリアルナンバーは、背面パネルのラベルに小さく記載されています。いくつかのモデルは、フロントベゼルの下のシャーシにも記載されています。
- ・ 古いバッテリーはリサイクル処理に回してください。
- ・ 梱包材は、再利用するか、再利用するために保管してください。

電気設備

⚠ 危険

感電の危険性

- ・ 国および地域の全ての電気規則に従ってください。
 - ・ 配線は有資格の電気技師が行う必要があります。
 - ・ 安全と設置についてのこのマニュアルを読んでインストラクションに従ってください。
- これらの指示に従わない場合、装置の損傷、怪我または死亡につながる可能性があります。

⚠ 注意

感電の危険性

- ・ 機器を取り付け、作動もしくは部品につなげる前に、電子パネルを回路ブレーカーから外してください。
 - ・ 利用開始に先立って、部品を機材から取り外してください。
 - ・ AC と DC の出力コネクタは遠隔、または自動操作で常に通電しうる場合があります。
 - ・ 安全切断として、UPS は使用しないでください。
- これらの指示に従わない場合、軽度または中度の怪我につながる可能性があります。

⚠ 注意

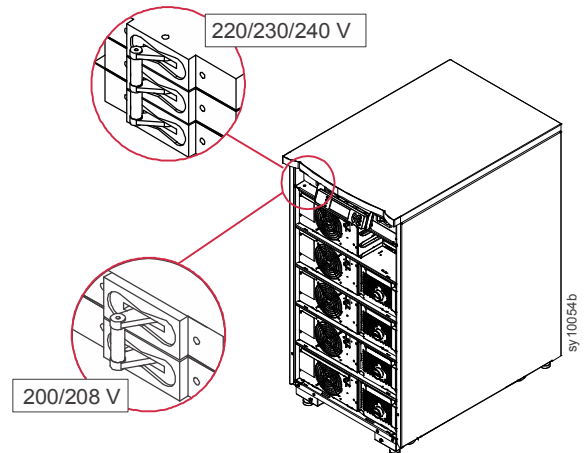
感電の危険性

- ・ ワイヤゲージは必要なアンペア容量や、国や地域の電気規則を遵守しなければいけません。
 - ・ 装置を備えた、はめ込み式のストレインリリーフをご使用ください。
 - ・ UPS は下の図が示している通り、回路ブレーカーを搭載した分岐回路に配線されていなければいけません。
 - ・ 入力端子ネジトルク 16 lbf-in (2 Nm) をお勧めします。
 - ・ 一度、ハードワイヤーが完成したら、すべての開口部は覆われていなければなりません。
- これらの指示に従わない場合、軽度または中度の怪我につながる可能性があります。

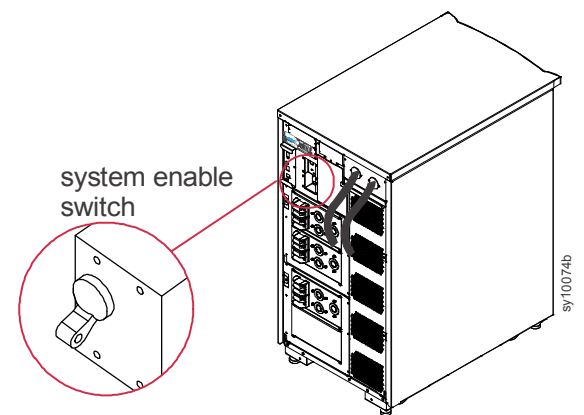
UPS の電源をオフにします

UPS への AC ユーティリティ電源をオフにします。

UPS の入力回路ブレーカーをオフにします。



システムイネーブルスイッチをオフにします。



Symmetra LX のインストール

UPS と周辺モジュールの設定のインストラクションは、Symmetra LX UPS 物理的設置ガイドを参照してください。

拡張ランキャビネットの設置手順については、Symmetra LX 拡張ランキャビネットの物理的設置ガイドを参照してください。

電氣的接続

⚠ 危険

感電の危険性

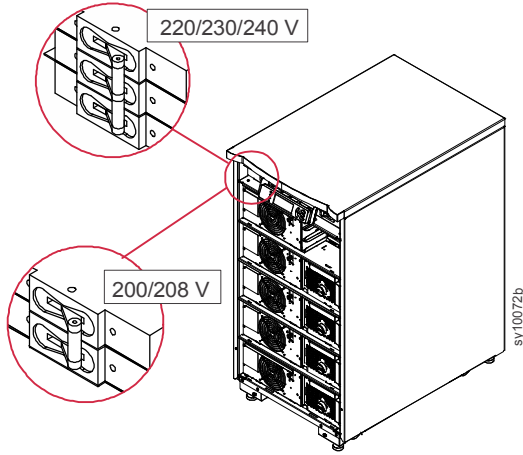
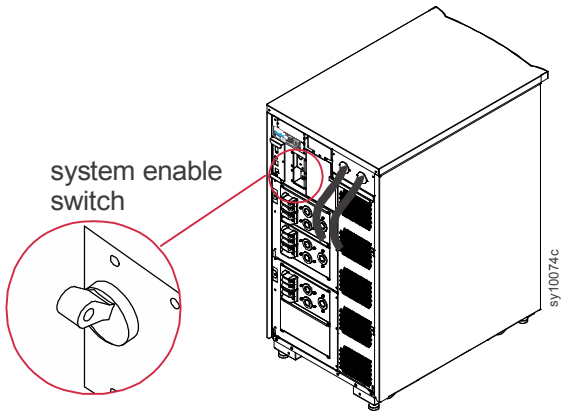
- ・ 国および地域の全ての電気規則に従ってください。
 - ・ 配線は有資格の電気技師が行う必要があります。
 - ・ 安全と設置についてのこのマニュアルを読んでインストラクションに従ってください。
 - ・ 安全と設置についてのこのマニュアルで触れているインストラクションを読んで、従ってください。
- これらの指示に従わない場合、装置の損傷、怪我または死亡につながる可能性があります。

Symmetra LX 配線

入力と出力に関する電源接続用の Symmetra LX 電気インストールガイドを参照してください。

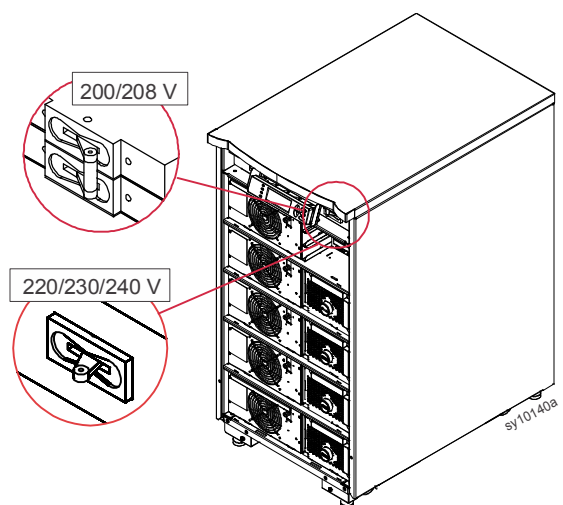
システムインストールチェックリスト

詳細な手順については、「Symmetra LX 物理的設定ガイド」および「Symmetra LX Electrical インストールガイド」を参照してください。

UPS に接続されているすべての機器を取り外します。	
すべてのラックマウントコンポーネントが、ラックに適切に固定されていることを確認します	
パワーモジュール、バッテリーモジュール、ならびにインテリジェンスモジュールが正しく取り付けられていることを確認します。	
PowerView がインテリジェンスモジュール (IM) に正しく取り付けられていることを確認します。	
UPS AC ユーティリティ電源をオンにします。	
入力回路ブレーカーとシステムイネーブルスイッチをオンにします。	
	
最初の起動時に、クリック音が聞こえることがあります。	
初期起動時に、PowerView が診断メッセージを表示することがあります。これらのメッセージは無視してください。	
モニタリング画面が表示されるまで、PowerView の Esc ' ボタンを押します	
入力電圧 (Vin) が、分岐回路 (本線) と電圧に一致することを確認します。	

システムインストールのチェックリスト

メンテナンスバイパススイッチをオンにします。



PowerView の LED インジケータまたは診断メッセージは無視してください。
モニタリング画面が表示されるまで、PowerView の Esc ' ボタンを押します
入力電圧 (Vin) が、分岐回路 (本線) と電圧に一致することを確認します。

REPO スイッチをテストします。

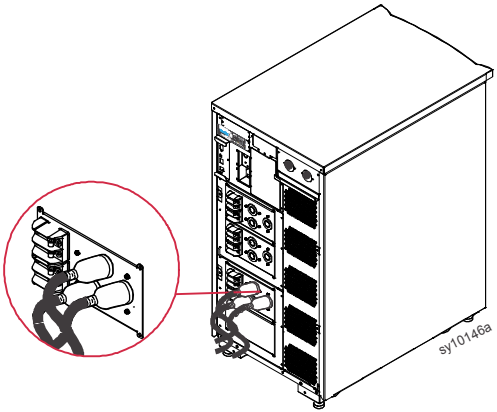
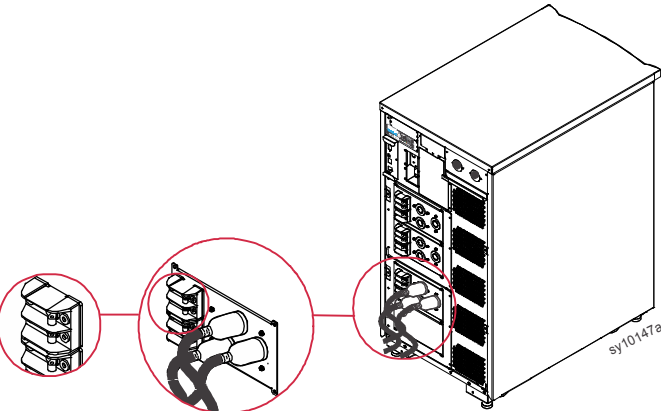
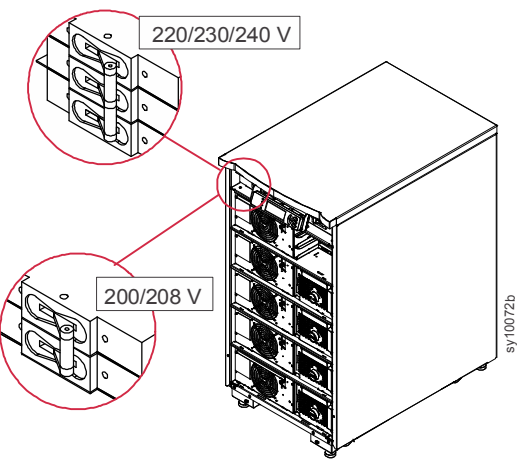
システムイネーブルスイッチがスタンバイ位置に移動し、システムがシャットダウンする必要があります。

入力回路ブレーカー、システムイネーブルスイッチ、またメンテナンスバイパススイッチをオフにします。

システムの起動

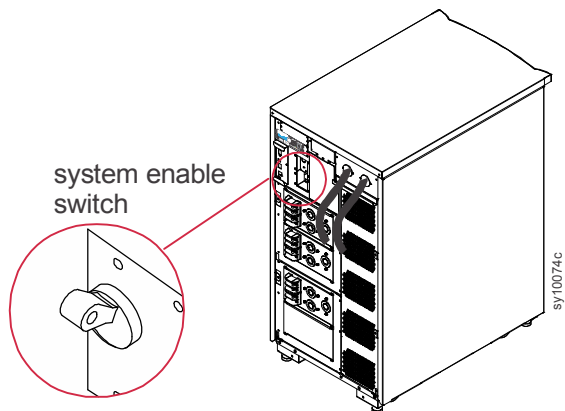
詳細な手順については、Symmetra Operations Guide を参照してください。

UPS の電源を入れる

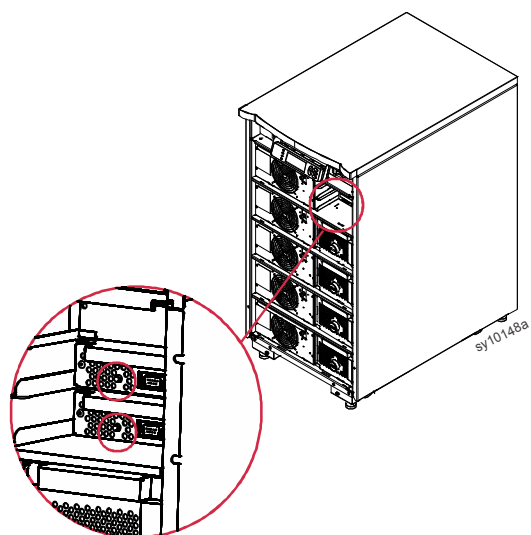
<p>AC ユーティリティ電源をオンにします。</p>	<p>接続されているすべての機器の回路ブレーカーを、オンにします。</p>
<p>接続された機器が配線で接続されている場合は、分電盤にある出力回路ブレーカーのスイッチがオンであることを確認します。</p>	 <p>The diagram shows a Symmetra LX unit (model sy10146a) with a single circuit breaker highlighted by a red circle. An inset shows a close-up of the breaker being turned on.</p>
<p>接続された機器が UPS に接続されている場合は、各 UPS PDU の出力回路ブレーカーがオンになっていることを確認します。</p>	 <p>The diagram shows a Symmetra LX unit (model sy10147a) with multiple circuit breakers highlighted by red circles. Inset diagrams show close-ups of the breakers being turned on.</p>
<p>入力回路ブレーカーをオンにする</p>	 <p>The diagram shows a Symmetra LX unit (model sy10072b) with two input circuit breakers highlighted by red circles. Callouts indicate the voltage ratings: 220/230/240 V and 200/208 V.</p>

UPS の電源を入れることを続ける

UPS システムイネーブルスイッチを入れる



AC ユーティリティ電源が供給されない状態で UPS を起動するには、コールドスタートボタンのいずれかを 4 秒間押し続けます。



PowerView 画面を設定する

<p>システムの起動中に PowerView が初期診断を完了すると、動作パラメータを提供するモニタリング画面を設定できます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Chg 100% Load 000% 220 Vin 000 Vout 60 Hz Runtime: 00hr 30min</p> </div>								
<p>出力電圧を設定する</p> <p>メインメニュー画面が表示されるまで、ESC ボタンを押します。 Up/down 矢印キーを使用してオプションをスクロールします。 セットアップを選択し、ENTER キーを押します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">Control</td> <td style="width: 50%;">Logging</td> </tr> <tr> <td>Status</td> <td>Display</td> </tr> <tr> <td>>Setup</td> <td>Diags</td> </tr> <tr> <td>Accessories</td> <td>Help</td> </tr> </table> </div>	Control	Logging	Status	Display	>Setup	Diags	Accessories	Help
Control	Logging								
Status	Display								
>Setup	Diags								
Accessories	Help								
<p>Up/down 矢印キーを使用してオプションをスクロールします。 Other を選択し、ENTER キーを押します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">Settings</td> <td style="width: 50%;">Alarms</td> </tr> <tr> <td>Shutdown</td> <td>Bypass</td> </tr> <tr> <td>Defaults</td> <td>Copy</td> </tr> <tr> <td>Output Freq</td> <td>>Other</td> </tr> </table> </div>	Settings	Alarms	Shutdown	Bypass	Defaults	Copy	Output Freq	>Other
Settings	Alarms								
Shutdown	Bypass								
Defaults	Copy								
Output Freq	>Other								
<p>Up/down 矢印キーを使用して、特定のアプリケーションの出力電圧を変更するオプションをスクロールします。 出力を選択します。 カーソルが電圧フィールドに移動します。電圧オプションをスクロールするには、Up/down の矢印を使用します。 必要な電圧を選択し、ENTER キーを押します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">Self Test :</td> <td style="width: 50%;">Enabled</td> </tr> <tr> <td>UPS ID :</td> <td>UPS_IDEN</td> </tr> <tr> <td>Vout Reporting :</td> <td>Auto</td> </tr> <tr> <td>>Output :</td> <td>208V</td> </tr> </table> </div>	Self Test :	Enabled	UPS ID :	UPS_IDEN	Vout Reporting :	Auto	>Output :	208V
Self Test :	Enabled								
UPS ID :	UPS_IDEN								
Vout Reporting :	Auto								
>Output :	208V								
<p>接続された機器の電源を入れる</p> <p>この手順を実行する前に Symmetra LX をオンにする必要があります。 メインメニュー画面が表示されるまで、ESC ボタンを押します。 Up/down 矢印キーを使用してオプションをスクロールします。 コントロールを選択し、ENTER キーを押します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">Control</td> <td style="width: 50%;">Logging</td> </tr> <tr> <td>Status</td> <td>Display</td> </tr> <tr> <td>>Setup</td> <td>Diags</td> </tr> <tr> <td>Accessories</td> <td>Help</td> </tr> </table> </div>	Control	Logging	Status	Display	>Setup	Diags	Accessories	Help
Control	Logging								
Status	Display								
>Setup	Diags								
Accessories	Help								
<p>Up/down 矢印キーを使用してオプションをスクロールします。 Turn UPS Output On を選択し、ENTER キーを押します。 注：2 ページ目までスクロールダウンする必要があります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Graceful Turn On Start Runtime Cal >Turn UPS Output On</p> </div>								
<p>YES を選択して確定します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Confirm: Turn UPS On Cancel >Yes, Turn UPS On</p> </div>								
<p>クリック音がある場合があり、このメッセージが表示されることがあります。 注：1 つまたは複数の上書き警告が表示されることがあります。今すぐ開始を選択して、これらに答えます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>UPS HAS BEEN COMMANDED TO TURN POWER ON</p> </div>								

このメッセージが表示されると、Load On LED が点灯するまでに 90 秒の遅延があります。

UPS LOAD IS ON
Press any key...

Schneider Electric による APC™ ワールドワイドのカスタマーサポート

本製品、もしくは他の Schneider Electric Symmetra®c 製品を対象とするカスタマーサポートは無償で、次のように提供されています。：

- ・ APC の Web サイト www.apc.com を閲覧されますと、APC Knowledge Base 内の資料を参照したり、お客様のご要望を送信していただくことができます。
 - **Www.apc.com** (本社)
特定の国の情報については、ローカライズした APC Web サイトにアクセスします。それぞれのページにカスタマーサポート情報があります。
 - **www.apc.com/support/**
グローバルサポートには、APC Knowledge Base 内での検索および e-support があります。
- ・ APC カスタマーサポートには電話または E-mail で問い合わせることもできます。
 - 地域、国別のセンタ：連絡先の情報については、**www.apc.com/support/** にアクセスしてください。
 - お住まいの地域のカスタマーサポートについては、APC by Schneider Electric 製品を購入された APC by Schneider Electric 営業担当または販売店にお問い合わせください。

© 2018 APC by Schneider Electric. APC、APC logo、Smart-UPS と Symmetra は Schneider Electric Industries S.A.S またはその関連会社が所有しています。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に所有権が帰属します。